

画面で見るマニュアル

ファイルバックアップツール

Sync with Business Edition

[【マニュアルアンケートはこちら】](#)

よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。



Sync with Business Edition とは	3
導入する	4
インストールする	5
バックアップ設定をする	7
メール通知を設定する	11
お使いの LAN DISK がダウンしたら	12
マスターがダウンした場合	13
スレーブがダウンした場合	15
Microsoft Azure からの復旧	16
資料	17
ソフトウェア詳細	18
ログ表示	26
困ったときには	32

Sync with Business Edition とは

Sync with Business Edition (以下、Sync with) は、LAN DISK 上の共有フォルダーを他の LAN DISK に同期するためのツールです。

定期的な同期

- Sync with では、同期元を「マスター」、同期先を「スレーブ」と呼びます。マスターの共有フォルダーを、スレーブに「定期的に」同期します。
- 設定したスケジュールに従って同期しますので、日中のアクセスが集中するタイミングは避け、夜間に同期するなど、業務に負担をかけないデータ同期を実現します。

レプリケーションとの違い

内容	Sync with	レプリケーション
同期	設定したスケジュールに従って同期	データ変更があるとすぐに同期
ネットワーク負荷	夜間の同期で、業務中に負荷をかけない	業務中に負荷がかかる
データ保持	前回同期までのデータを保持 ※ 同期後に失われたデータを参照可能	最新データを保持

スムーズな運用再開

- Sync with は、共有フォルダー上のデータだけでなく、「設定情報」もスレーブにバックアップします。
- いざというときは、スレーブを「切り替える」ことで、設定情報を引き継いでスレーブがマスターとして振る舞います。

設定情報とは

- Sync with のジョブ設定
- 共有情報
- ユーザー、グループ
- コンピューター名
- IP アドレス

Microsoft Azure 連携

- LAN DISK に直接襲いかかる災害に備え、Microsoft Azure にデータをバックアップできます。
- いざというときは、Microsoft Azure からデータを復旧することができます。

Windows Server 2003 などからのデータ移行に対応

- 32ビット版の Sync with (マスター用) をご用意。Windows Server 2003 / Windows Storage Server 2003 R2 から新しい LAN DISK にデータを移行できます。
- データを同期し終わったら、新しい LAN DISK (スレーブ) を「切り替え」します。これだけでファイルサーバーを移行できます。

導入する

インストールする	5
バックアップ設定をする	7
メール通知を設定する	11

Sync withとは

導入する

ダウンロードしたら

資料

困ったときには

インストールする

Sync withは用途に合わせて、インストーラーが3つあります。
それぞれの環境に応じて、インストールしてください。

インストーラー

ファイル名	対応OS	用途	
MasterSetup	Windows Storage Server 2008 R2 Windows Storage Server 2012 Windows Storage Server 2012 R2	マスター用	Master
MasterSetup2003	Windows Server 2003 (R2) Windows Storage Server 2003 R2 ※以降合わせてWindows Server 2003と表記	Windows Server 2003用	Master 2003
SlaveSetup	Windows Storage Server 2008 R2 Windows Storage Server 2012 Windows Storage Server 2012 R2	スレーブ用	Slave

環境例

Windows Server 2003からの移行

- マスター予定機は、データ移行後、マスターに「切り替え」します。



Windows Server 2003



マスター予定機



スレーブ予定機

Sync withとは

導入する

ダウンロードしたら

資料

困ったときには

マスター/スレーブのバックアップ体制を整える



現行サーバー

スレーブ予定機

Microsoft Azureによるバックアップ体制を整える



Master

Microsoft Azure

マスター/スレーブ+ Microsoft Azure体制を整える

- Microsoft Azureとの同期は、Slave側であることをおすすめします。業務の負荷とバックアップ負荷の分散を図ることができます。



マスター予定機

スレーブ予定機

Microsoft Azure

バックアップ設定をする

運用するため、バックアップの設定をします。

- ▶ Windows Server 2003から移行する場合 7
- ▶ マスター/スレーブ間バックアップの設定 7
- ▶ Microsoft Azureバックアップの設定 9

Windows Server 2003 から移行する場合

Windows Server 2003を「マスター」、マスター予定機を「スレーブ」として、[【マスター/スレーブ間バックアップの設定】](#)をご覧ください。

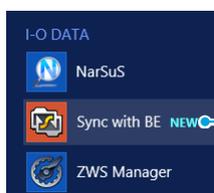
マスター/スレーブ間バックアップの設定

設定作業は、マスター側のSync withを操作します。

1 導入の前に設定を決め、メモしておく

項目		マスター	スレーブ
コンピューター名			
IPアドレス			
共有フォルダー	共有名		
	パス		

2



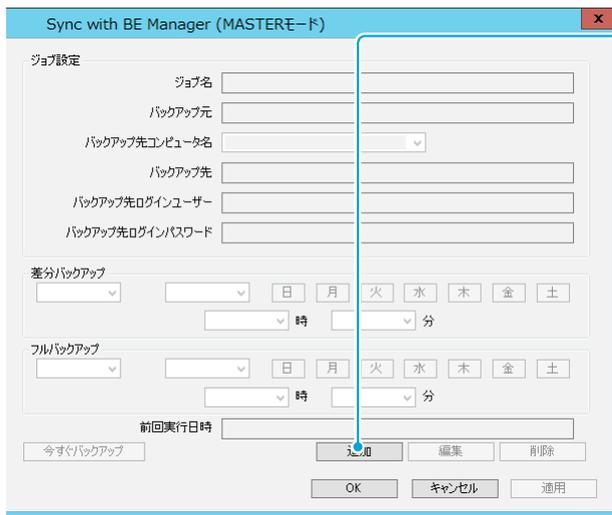
「Sync with BE」を起動する

3



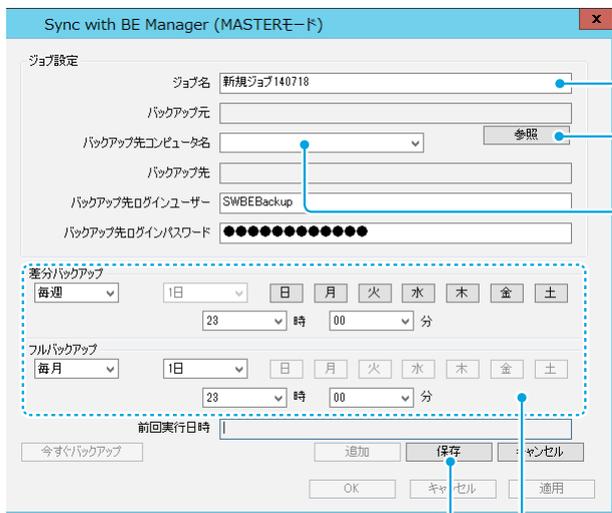
【バックアップ】をクリック

4



[追加] をクリック

5



① [ジョブ名] を入力

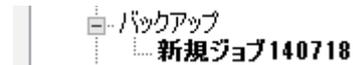
② [バックアップ先コンピュータ名] を入力

※ VPN環境下など、ネットワークアドレスが異なる場合はIPアドレスで指定します。

③ [参照] をクリックし、バックアップするフォルダーを選ぶ
※ Dドライブ上にあるフォルダーのみを選べます。

④ スケジュールを設定

⑤ [保存] をクリック
⇒ [バックアップ] の下にジョブが追加されます。



Windows Server 2003 から移行する場合

下の手順でデータを移行します。

- ① 上のバックアップの設定を終わらせる
- ② [今すぐバックアップ] をクリック
- ③ [はい] をクリックし、フルバックアップを実行する
- ④ フルバックアップが終わったら、Windows Server 2003をシャットダウンする
- ⑤ **【マスターがダウンした場合】** (13ページ) をご覧になり、スレーブに設定してある LAN DISK をマスターに切り替える

Microsoft Azure バックアップの設定

マスター/スレーブのどちら側のSync withでも設定できます。

マスター/スレーブ環境がある場合は、スレーブ側でバックアップすることをおすすめします。例えば、夜間にマスターからスレーブにバックアップし、その後にスレーブからMicrosoft Azureにバックアップします。こうすることで、業務内でもマスターに負荷をかけずにバックアップできます。

Microsoft Azure とは

Microsoft Azureは、Microsoftが提供するクラウドサービスです。

その内の1つのクラウドストレージサービスである Blob Storageではコンテナと呼ばれる領域に、簡単にファイルの格納や、取得をすることができます。

Microsoft Azureに関する詳細は、Microsoft Azureのホームページをご覧ください。

→ <http://azure.microsoft.com/>

Microsoft Azure へのバックアップに関する注意

- アップロード可能なファイルは、1 ファイル200Gバイトまでです。
- Microsoft Azure上のBlobはブロックBlobのみが同期対象となり、ページBlobは同期対象外となります。
- Microsoft AzureのBlob Storageは保存容量・通信量に応じて課金されます。頻繁に更新されるデータがある場合、請求額が大きくなる場合があります。
Microsoft Azure ご契約サイトなどで料金を確認しながら運用されることを推奨します。
- プロキシをお使いの場合は、[【バックアップ・サービス設定】\(19ページ\)](#) でプロキシの設定をしてください。
- Microsoft Azureバックアップの設定は、マスター/スレーブ間で共有されません。
スレーブをマスターに切り替えた場合、新しいスレーブにMicrosoft Azureバックアップの設定をし、マスター（元スレーブ）からMicrosoft Azureバックアップの設定を削除することをおすすめします。

Microsoft Azure の設定を確認する

事前に、Microsoft Azure (<http://azure.microsoft.com/>) にアクセスし、Microsoftアカウントを作成してください。

Microsoftアカウント作成後、さらにストレージアカウントやコンテナを作成、およびプライマリアクセスキーを確認し、以下をメモしてください。

・コンテナ名 ・ストレージアカウント名 ・ストレージアカウントのプライマリアクセスキー

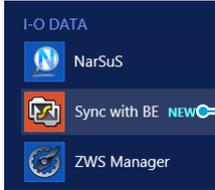
※ ストレージアカウントは、Microsoftアカウントでサインイン後、Microsoft Azureホームページ画面左下の「新規」の「データサービス」の「ストレージ」の「簡易作成」から作成します。

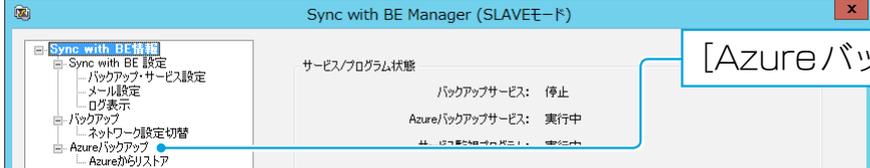
※ コンテナは、上記で作成したストレージアカウントをクリックし、Microsoft Azureホームページ画面上の「コンテナ」の「追加」から作成します。

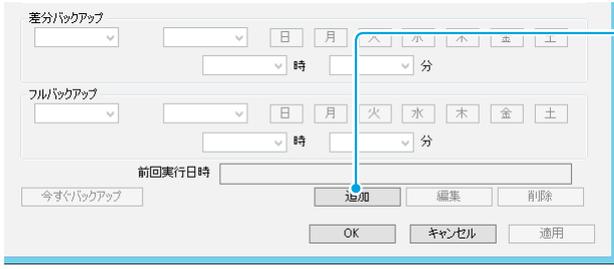
コンテナの「アクセス」方法は、任意にお選びください。

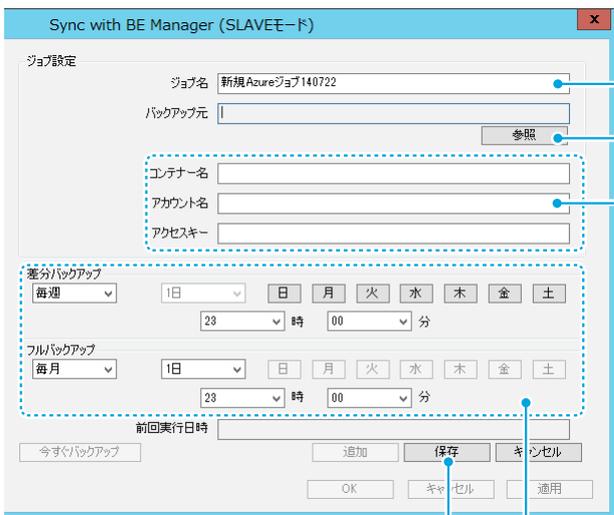
※ プライマリアクセスキーは、上記で作成したストレージアカウントをクリックし、Microsoft Azureホームページ画面下の「アクセスキーの管理」から確認します。

※ Microsoft Azureについての不明点、通信料金、規約については、Microsoft Azureのホームページにてご確認ください。

1  「Sync with BE」を起動する

2  [Azureバックアップ] をクリック

3  [追加] をクリック

4 

- ① [ジョブ名] を入力
- ② [参照] をクリックし、バックアップするフォルダーを選ぶ
- バックアップ元**
Dドライブ上にあるフォルダーのみを選べます。
- ③ Microsoft Azureのコンテナー情報を入力
※ [アカウント名] にはストレージアカウントを入力してください。
- ④ スケジュールを設定
- ⑤ [保存] をクリック
⇒ [Azureバックアップ] の下にジョブが追加されます。
 - Azureバックアップ
 - Azureからリストア
 - 新規Azureジョブ140722

Sync withとは

導入する

ダウンロードしたら

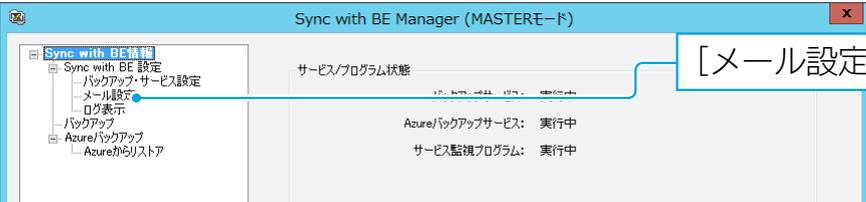
資料

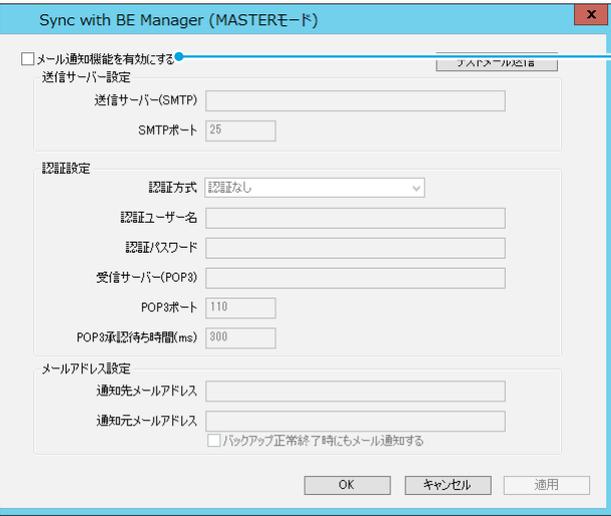
困ったときには

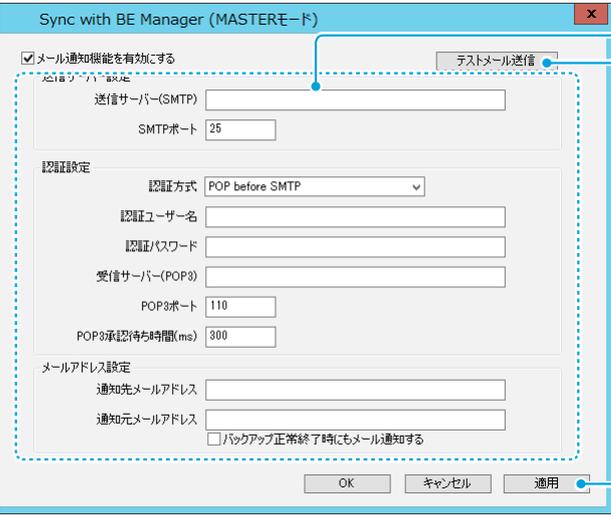
メール通知を設定する

Sync withがバックアップに失敗した時など、メールで通知することができます。

- 1
 

[Sync with BE] を起動する
- 2
 

[メール設定] をクリック
- 3
 

[メール通知機能を有効にする] をチェック
- 4
 

① メールに関する設定を入力

② [適用] をクリック
⇒ 設定が保存されます。

③ [テストメール送信] をクリックし、
メールが届くことを確認する

Sync withとは
導入する
ダウンロード
資料
困ったときには

お使いのLAN DISKがダウンしたら

マスターがダウンした場合	13
スレーブがダウンした場合	15
Microsoft Azureからの復旧	16

Sync withとは

導入する

ダウンしたら

資料

困ったときには

マスターがダウンした場合

マスター機がダウンした場合、スレーブ機をマスター機に「切り替え」で対応します。

Sync withとは

導入する

ダウンしたら

資料

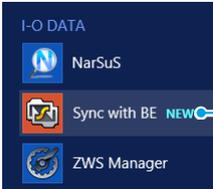
困ったときには

マスター機の操作

- 1 マスター機の電源が入っている場合はシャットダウンし、ネットワークから取り外す
※ 修理の必要がある場合は、マスター機を修理に出しましょう。

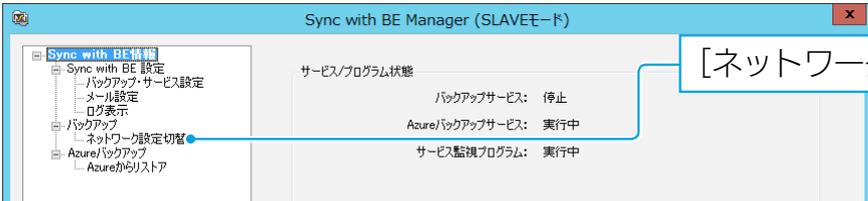
スレーブ機の操作(この手順によりマスター機になります)

2



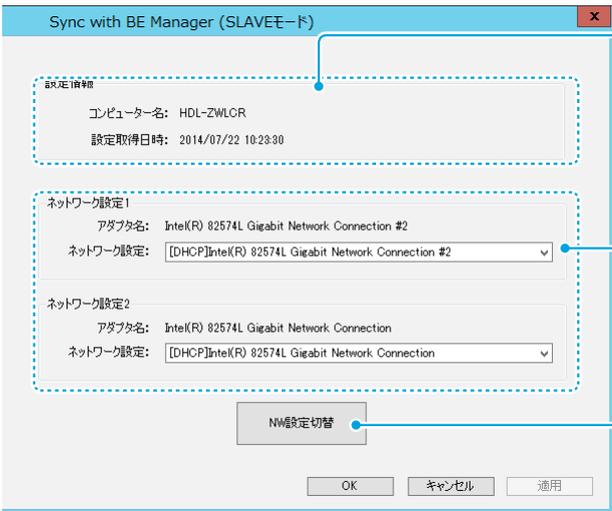
[Sync with BE] を起動する

3



[ネットワーク設定切替] をクリック

4



① 設定情報を確認する

② 各LANポートに反映されるネットワーク設定を確認する

③ [NW設定切替] をクリック
⇒スレーブ機にマスター機の設定がされ、マスター機になります。Sync withもマスターに変わります。

- 5 ユーザーのパスワードがユーザー名と同じになっているので、設定し直す
※すでに同一ユーザーが登録されている場合、パスワードは変更されません。
※日本語ユーザー名をご利用の場合は、必ず管理者権限でパスワードをリセットしてください。

旧マスター機の操作(この手順によりスレーブ機になります)

- 6 旧マスター機の修理が終わったり、スペアのLAN DISKがある場合は、それらの設定をスレーブ機のものにする
 ※【[マスター/スレーブ間バックアップの設定](#)】(7ページ)の手順1 参照
- 7 Sync withのスレーブ版をインストールする
- 8 ネットワークにつなげる

これで復旧は終わりです。

Sync withとは

導入する

ダウンしたら

資料

困ったときには

スレーブがダウンした場合

スレーブ機がダウンした場合、スレーブ機を取り外して対処します。

スレーブ機の手続き

- 1 スレーブ機の電源が入っている場合はシャットダウンし、ネットワークから取り外す
※ 修理の必要がある場合は、スレーブ機を修理に出しましょう。

スレーブ機の復旧が終わったら…

- 2 スレーブ機の復旧が終わったり、スペアのLAN DISKがある場合は、それらの設定をスレーブ機のものにする
※ [【マスター/スレーブ間バックアップの設定】\(7ページ\)](#)の手順1 参照
- 3 Sync withのスレーブ版をインストールする
- 4 ネットワークにつなげる

これで復旧は終わりです。

Microsoft Azureからの復旧

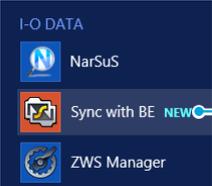
マスター/スレーブともダウンしてしまった場合など、Microsoft Azureにバックアップしたデータから復旧できます。

Microsoft Azureから復旧する

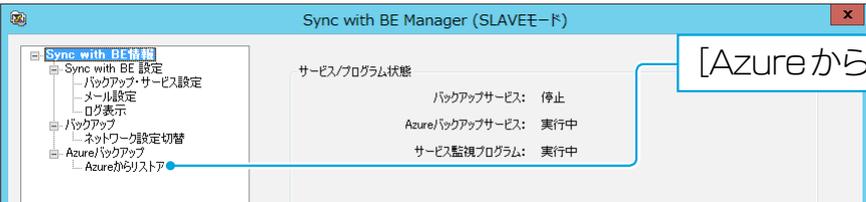
- LAN DISKの修理が終わったり、スペアのLAN DISKがある場合は、それらの設定をマスター機のものにする
 ※【[マスター/スレーブ間バックアップの設定](#)】(7ページ)の手順1参照
 ※ユーザー、グループも設定しなおしてください。

- Sync withのマスター版をインストールする

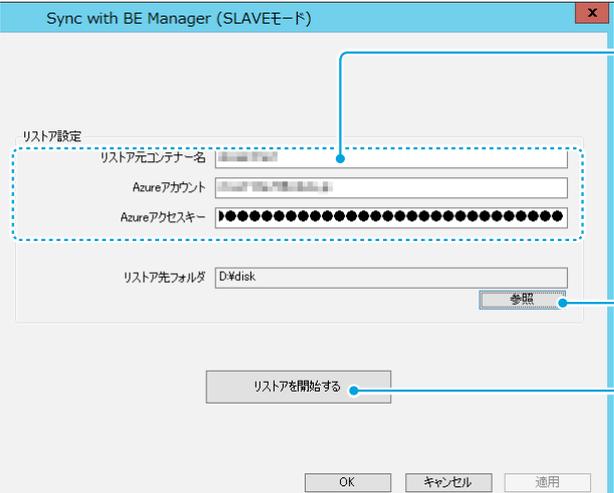
- ネットワークにつなげる

- 

[Sync with BE] を起動する

- 

[Azureからリストア] をクリック

- 

① Microsoft Azureのコンテナ情報を入力

② [参照] をクリックし、復旧先のフォルダーを選ぶ

③ [リストアを開始する] をクリック ⇒ データが復旧されます。

[ソフトウェア詳細](#) 18

[ログ表示](#) 26

Sync with とは

導入する

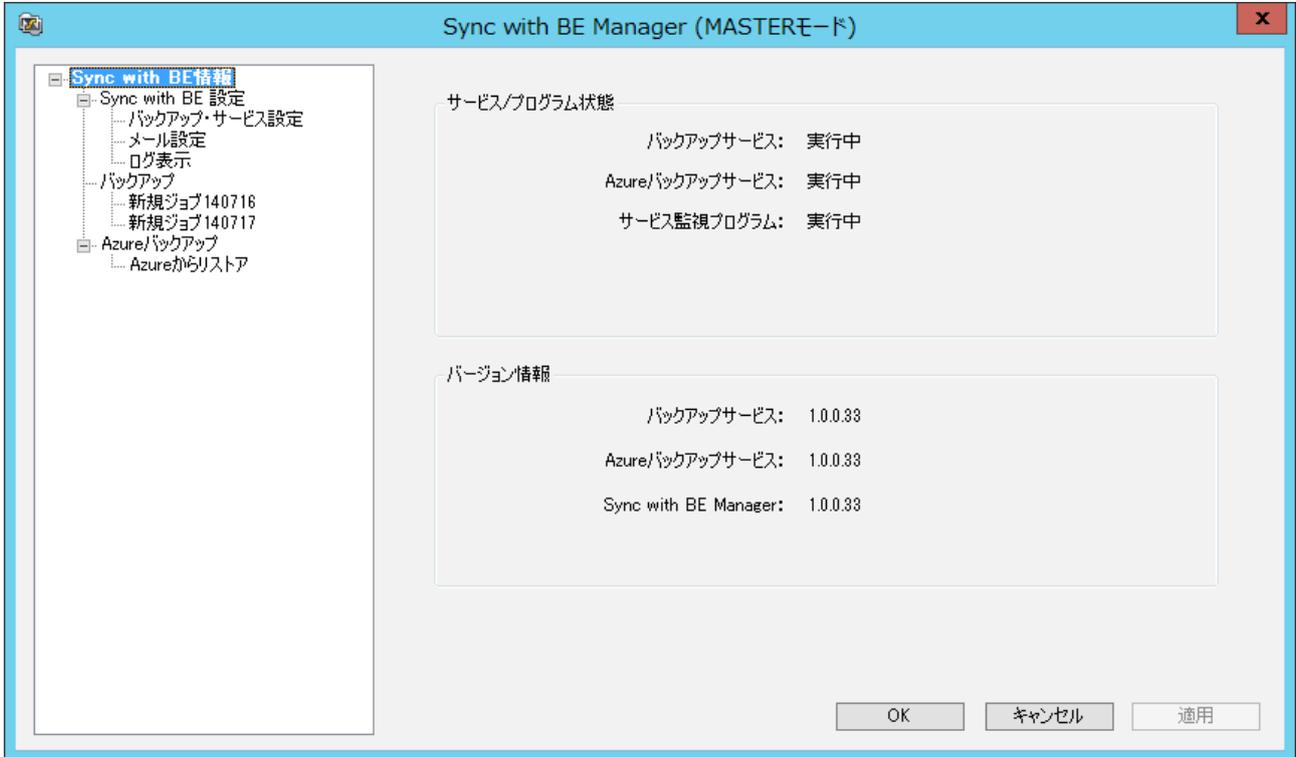
ダウンロードしたら

資料

困ったときには

ソフトウェア詳細

Sync with BE 情報



項目名	説明	Sync with		
		M	M2003	S
サービス/プログラム 状態	サービスの状態を表示します。 正しく動作している場合は、[実行中]と表示されます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> *	<input type="radio"/>
バージョン 情報	Sync withのバージョンを表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※Master2003は、Azureバックアップサービスに対応していません。

Sync withとは

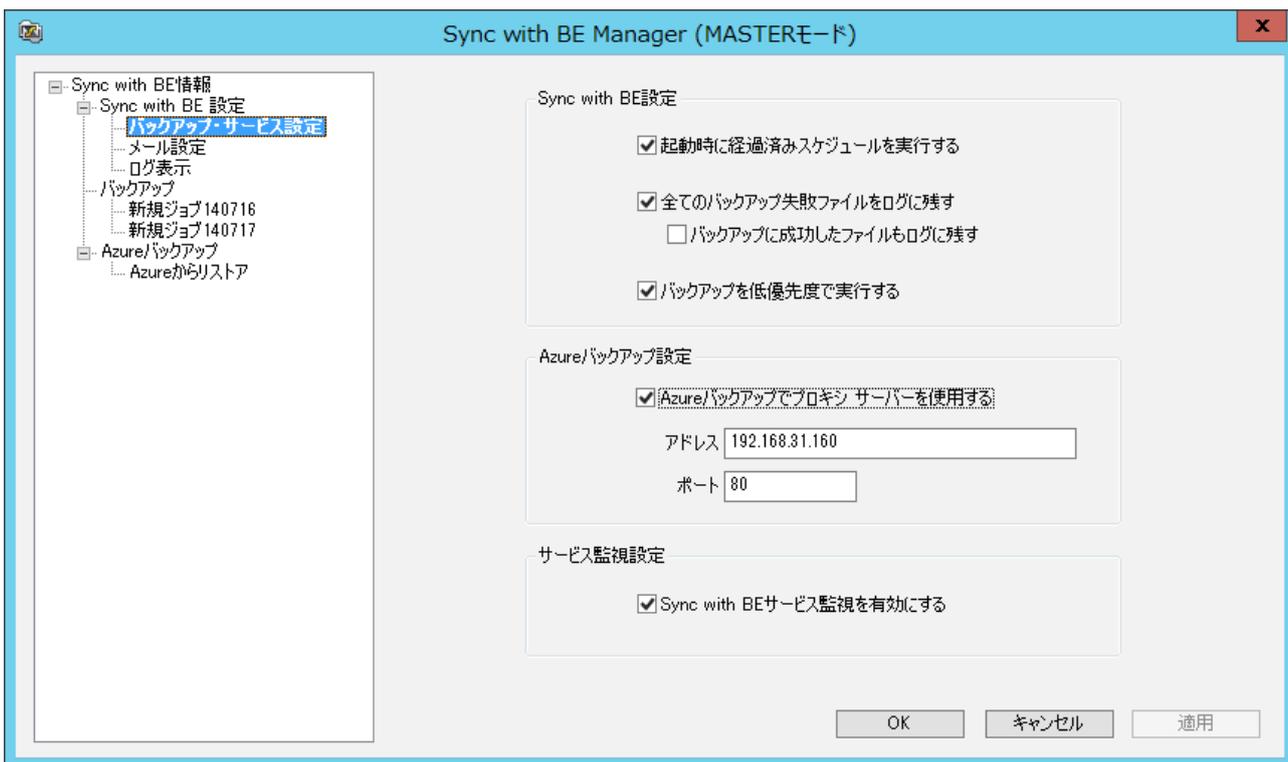
導入する

ダウンロードしたら

資料

困ったときには

バックアップ・サービス設定



項目名	説明	Sync with		
		M	M2003	S
Sync with BE 設定	Sync withの動作を設定します。 変更の反映には、Windowsの再起動が必要です。	○	○	○
起動時に経過済みスケジュールを実行する	チェックすると、Sync with起動時に、実施予定時刻を経過しているスケジュールを実行します。	○	○	○
全てのバックアップ失敗ファイルをログに残す	チェックすると、バックアップに失敗したファイルを、すべてログに記録します。 ※バックアップに成功したファイルもログに残す： バックアップに成功したファイルについても、ログに記録します。	○	○	○
バックアップを低優先度で実行する	チェックすると、バックアップを低優先度で処理します。 (チェックを外すと、通常優先度で処理します。)	○	○	○
Azureバックアップ設定	チェックすると、接続にプロキシサーバーを使います。 アドレスとポートについては、ネットワーク管理者にご確認ください。	○	○	○
サービス監視設定	チェックすると、サービスを監視します。 サービスが停止している場合は、自動的にサービスを起動しなおします。	○	○	○

Sync withとは

導入する

ダウンしたら

資料

困ったときには

メール設定

項目名	説明	Sync with		
		M	M2003	S
メール通知機能を有効にする	チェックすると、イベント発生時にメール通知ようになります。	○	○	○
テストメール送信	設定した内容でテストメールを送信します。	○	○	○
送信サーバー設定	送信サーバーに関する設定をします。	○	○	○
認証設定	認証に関する設定をします。	○	○	○
メールアドレス設定	通知するメールアドレスと、その際に送信元となるメールアドレスを設定します。 ※バックアップ正常終了時にもメール通知する： バックアップが正常に終了した場合にもメールで通知します。	○	○	○

▶ [メール通知を設定する](#)

11

Sync withとは

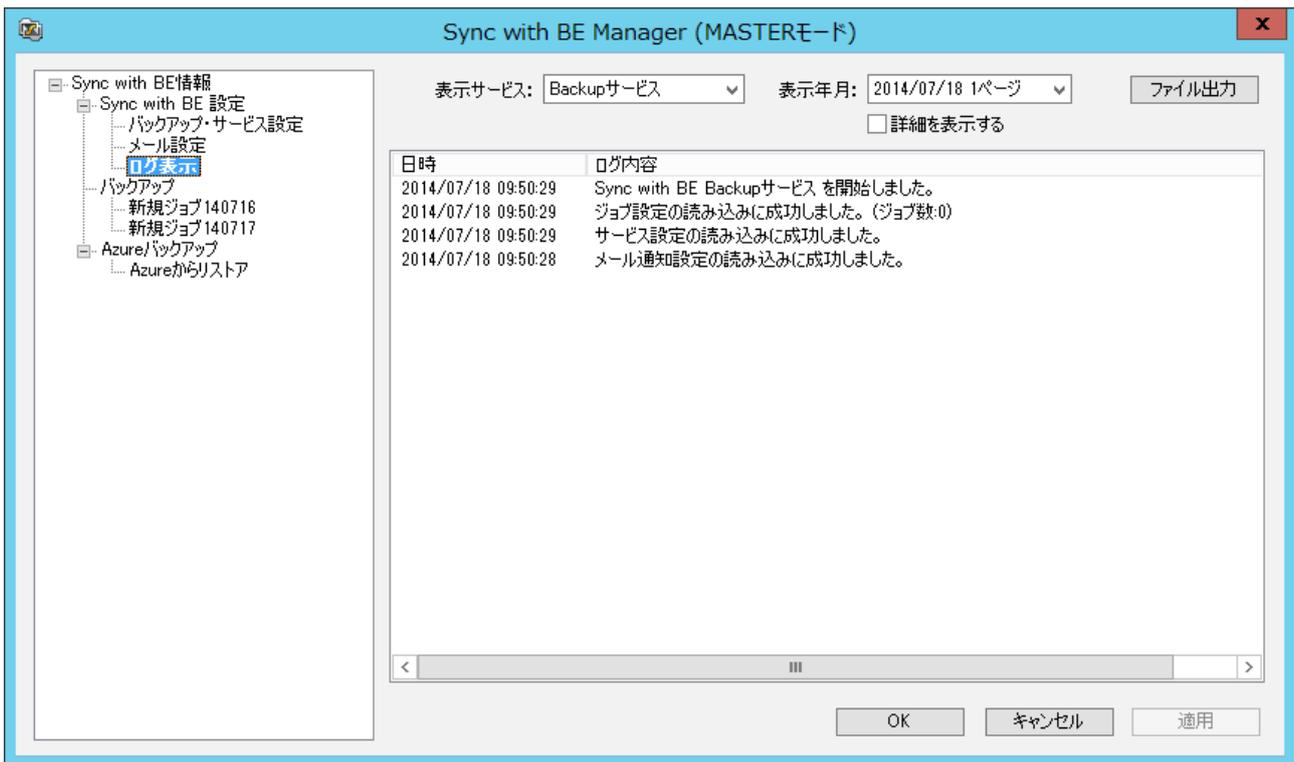
導入する

ダウンロードしたら

資料

困ったときには

ログ表示



項目名	説明	Sync with		
		M	M2003	S
表示サービス	マスター / スレーブバックアップと Azureバックアップのログ表示を切り替えます。	○	○	○
表示年月	ログ表示する日付を切り替えます。	○	○	○
ファイル出力	タブ区切りテキストファイルで、ログを出力します。	○	○	○
詳細を表示する	各バックアップの成功・失敗ファイル一覧を表示します。	○	○	○
一覧	ログを一覧表示します。 ※ログの内容については、 【ログ表示】(26ページ) をご覧ください。	○	○	○

Sync with とは

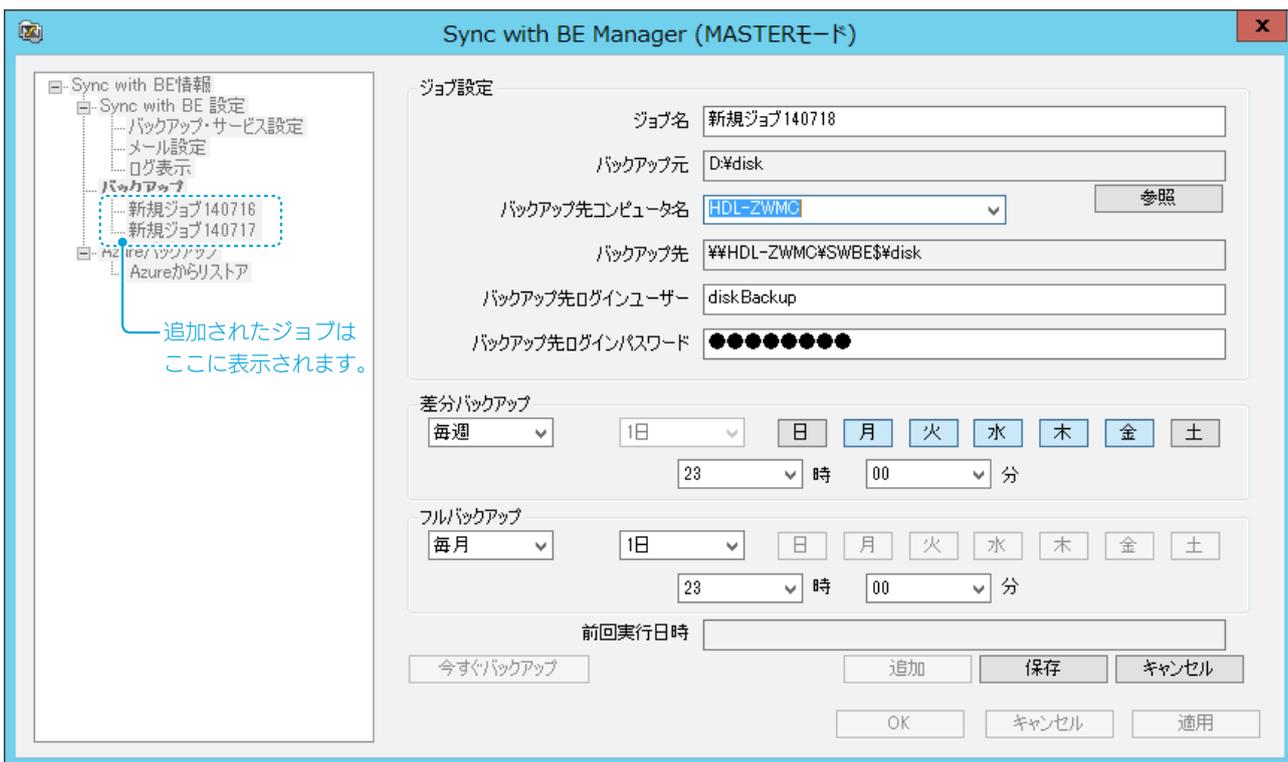
導入する

ダウンロードしたら

資料

困ったときには

バックアップ



Sync withとは

導入する

ダウンロードしたら

資料

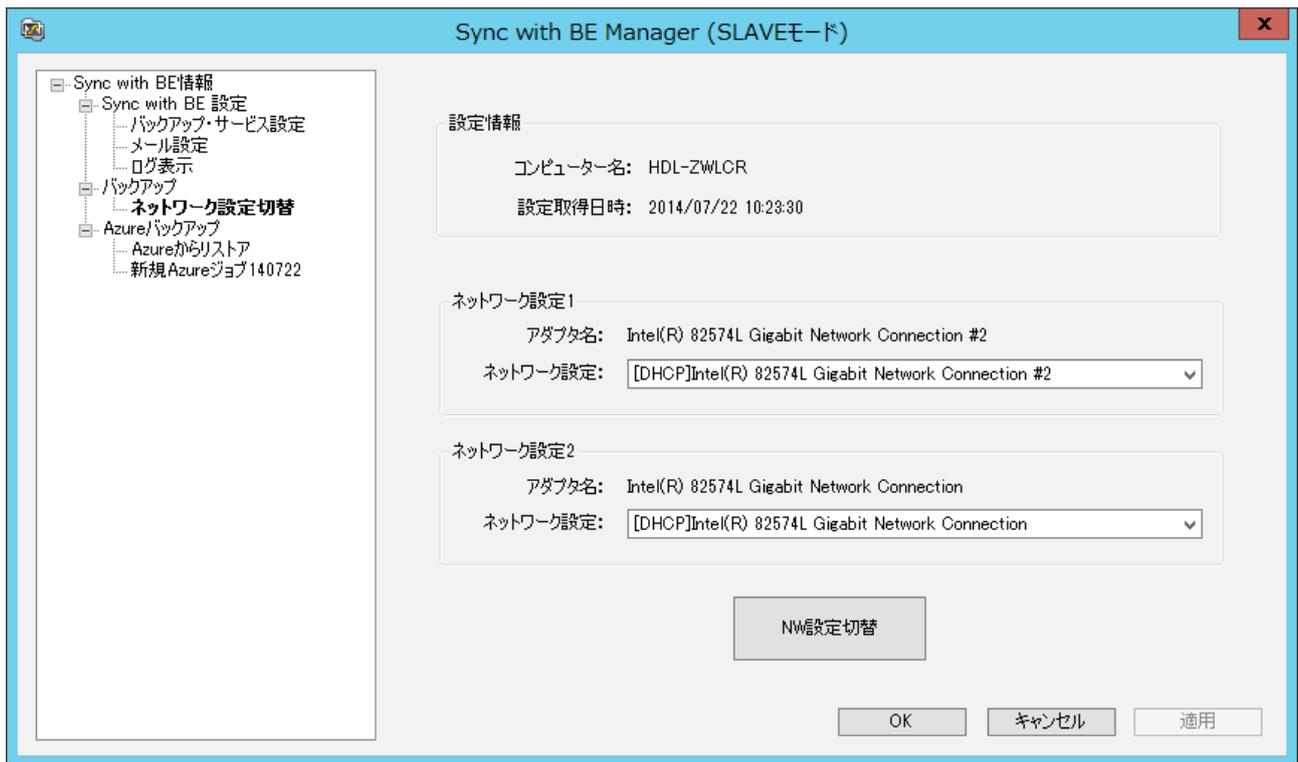
困ったときには

項目名	説明	Sync with		
		M	M2003	S
ジョブ設定	バックアップのジョブに関する設定をします。			
ジョブ名	ジョブの名前を設定します。			
バックアップ元	マスターのバックアップする共有フォルダーを設定します。			
バックアップ先コンピュータ名	スレーブのコンピューター名を入力します。	○	○	○ ^{※2}
バックアップ先	スレーブの保存先が表示されます。(自動入力)			
バックアップ先ログインユーザー	バックアップに使うスレーブのユーザー名を設定します。(自動入力)			
バックアップ先ログインパスワード	バックアップに使うスレーブのユーザーのパスワードを設定します。(自動入力)			
差分バックアップ	差分バックアップのスケジュールを設定します。 ^{※1}	○	○	○ ^{※2}
フルバックアップ	フルバックアップのスケジュールを設定します。 ^{※1}	○	○	○ ^{※2}
前回実行日時	直近でバックアップした日時を表示します。	○	○	○ ^{※2}
今すぐバックアップ	設定した内容でバックアップします。フルバックアップと差分バックアップを選ぶことができます。	○	○	○ ^{※2}
追加	ジョブを追加し、設定します。	○	○	○ ^{※2}
編集	選んだジョブを編集します。	○	○	○ ^{※2}
削除	選んだジョブを削除します。	○	○	○ ^{※2}

※1 最新の同期データに上書きされます。バックアップの履歴は残りません。

※2 確認のみです。設定はできません。

ネットワーク設定切替



項目名	説明	Sync with		
		M	M2003	S
設定情報	マスター機のコンピューター名と設定情報を取得した日時を表示します。	-	-	○
ネットワーク設定1	マスター機のネットワーク設定をどちらのLANポートに割り振るか設定します。	-	-	○
ネットワーク設定2	ネットワーク設定1/2がそれぞれ、LANポート1/LANポート2に該当します。	-	-	○
NW設定切替	スレーブをマスターに切り替えます。	-	-	○

▶マスターがダウンした場合

13

Sync withとは

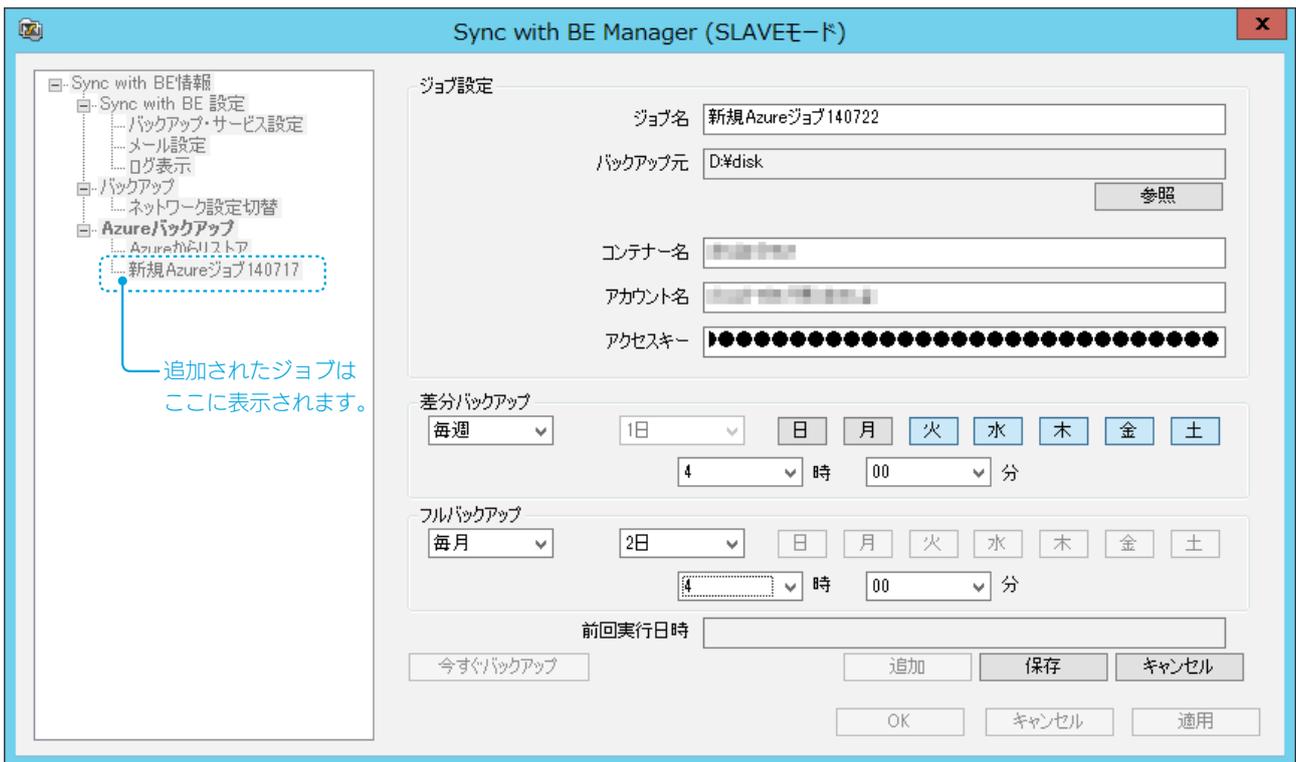
導入する

ダウンしたら

資料

困ったときには

Azure バックアップ



項目名	説明	Sync with		
		M	M2003	S
ジョブ設定	バックアップのジョブに関する設定をします。			
ジョブ名	ジョブの名前を設定します。			
バックアップ元	バックアップする共有フォルダーを設定します。			
コンテナ名	バックアップ先に使うMicrosoft Azureのコンテナ名を入力します。	○	-	○
アカウント名	ストレージアカウントを入力します。			
アクセスキー	コンテナのアクセスキーを入力します。			
差分バックアップ	差分バックアップのスケジュールを設定します。*	○	-	○
フルバックアップ	フルバックアップのスケジュールを設定します。*	○	-	○
前回実行日時	直近でバックアップした日時を表示します。	○	-	○
今すぐバックアップ	設定した内容でバックアップをします。 フルバックアップと差分バックアップを選ぶことができます。	○	-	○
追加	ジョブを追加し、設定します。	○	-	○
編集	選んだジョブを編集します。	○	-	○
削除	選んだジョブを削除します。	○	-	○

※バックアップの履歴が残るわけではありません。

▶ Microsoft Azureバックアップの設定

9

Sync withとは

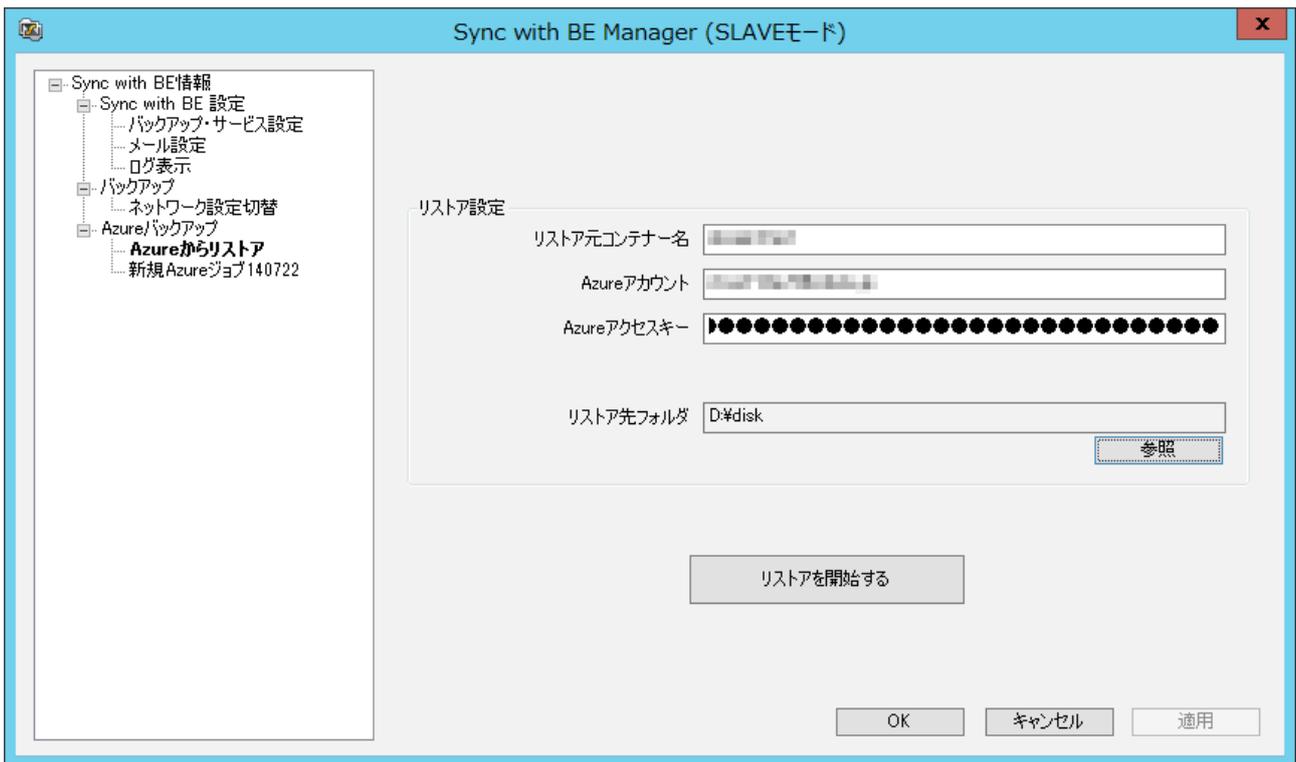
導入する

ダウンロードしたら

資料

困ったときには

Azure からリストア



項目名	説明	Sync with		
		M	M2003	S
リストア設定	Microsoft Azure からの復旧に関する設定をします。			
リストア元コンテナ名	バックアップ先に使っていたMicrosoft Azureのコンテナ名を入力します。			
Azureアカウント	Microsoft Azureのアカウントを入力します。	○	-	○
Azureアクセスキー	コンテナのアクセスキーを入力します。			
リストア先フォルダ	復旧先のフォルダを設定します。			
リストアを開始する	Microsoft Azure からの復旧を開始します。	○	-	○

▶ Microsoft Azure から復旧する

16

Sync withとは

導入する

ダウンロードしたら

資料

困ったときには

ログ表示

Backup サービス

表示内容	説明	通知				
		ログ ファイル	イベント ログ	メール (エラー)	メール (すべて)	NarSuS
Sync with BE Backup サービスを開始しました。	サービスを開始した	○	○	-	-	○
Sync with BE Backup サービスを終了しました。	サービスを終了した (サーバーシャットダウン含む)	○	○	-	-	○
Sync with BE Backup サービスを一時停止しました。	サービスを一時停止した	○	-	-	-	○
Sync with BE Backup サービスを再開しました。	サービスを再開した	○	○	-	-	○
サービス設定の読み込みに成功しました。	共通設定の読み込みに成功した	○	-	-	-	-
ジョブ設定の読み込みに成功しました。 (ジョブ数:*ジョブ数*)	ジョブ設定の読み込みに成功した	○	-	-	-	-
メール通知設定の読み込みに成功しました。	メール設定の読み込みに成功した	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*]が実行待機状態になりました。	実行数が上限に達して実行待機になった	○	-	-	-	-
待機中だったジョブ[*ジョブ名*]のバックアップを開始します。	待機中だったジョブが開始される	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*]は既に実行中・実行待機中です。	実行しようとしたジョブが実行中	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個の差分ファイル削除が完了しました。	削除完了時(全ファイル成功)	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個の差分ファイル削除が完了し、*個数* 個のファイル削除に失敗しました。	削除完了時(エラーファイルあり)	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個の差分ファイルが削除できませんでした。	削除完了時(全ファイル失敗)	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個(内スキップ*個数* 個)のバックアップが完了し、*個数* 個のファイルバックアップに失敗しました。	コピー完了時(エラーファイルあり)	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個のファイルがバックアップできませんでした。	コピー完了時(全ファイル失敗)	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個のファイル再削除が完了しました。	再削除完了時(全ファイル成功)	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個のファイル再削除が完了し、*個数* 個のファイル再削除に失敗しました。	再削除完了時(エラーファイルあり)	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個のファイル再バックアップが完了しました。	再コピー完了時(全ファイル成功)	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個のファイルバックアップに成功し、*個数* 個のファイルバックアップに失敗しました。	コピー完了時(全ファイル失敗)	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個のエラーログを省略しました。	エラーログの数が上限値を超えていた	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個のファイル削除をリトライします。	削除に失敗したファイルをリトライする時	○	-	-	-	-

Sync with とは

導入する

ダウンロードしたら

資料

困ったときには

表示内容	説明	通知				NarSuS
		ログ ファイル	イベント ログ	メール (エラー)	メール (すべて)	
ジョブ[*ジョブ名*] *個数*個のファイルバックアップをリトライします。	コピーに失敗したファイルをリトライする時	○	-	-	-	-
前回サービス終了時にジョブ[*ジョブ名*] が実行中・実行待機中でした。	サービス起動時にジョブの実行中フラグが有効のままだった時	○	○	○	○	-
ログのメール送信に失敗しました。	ログのメール送信に失敗した時	○	○	○	○	-
ログのイベントログ記録に失敗しました。	ログのイベントログ記録に失敗した時	○	○	○	○	-
ログのファイル記録に失敗しました。	ログのファイル記録に失敗した時	○	○	○	○	-
サービス設定の読み込みに失敗しました。	共通設定の読み込みに失敗した時	○	○	-	-	-
メール通知設定の読み込みに失敗しました。	メール設定の読み込みに失敗した時	○	○	-	-	-
ジョブ設定の読み込みに失敗しました。	ジョブ設定の読み込みに失敗した時	○	○	-	-	-
ジョブデータが不正です。	ジョブの設定情報が不正だった時	○	○	○	○	-
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ先リストファイルの作成に失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	リストファイルの作成に失敗した時	○	○	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] リストファイルの終了処理に失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ用リストファイルの終了処理に失敗した時	○	○	-	-	-
設定情報のバックアップに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*)	設定情報のバックアップに失敗した時	○	○	-	-	-
ジョブ設定のバックアップに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*)	ジョブ設定のバックアップに失敗した時	○	○	-	-	-
情報取得ツールを起動できませんでした。(エラーコード:*コード番号*)	NW情報取得ツールの実行に失敗した時	○	○	-	-	-
情報取得ツールから終了コードを取得できませんでした。(エラーコード:*コード番号*)	NW情報取得ツールの結果取得に失敗した時	○	○	-	-	-
コンピュータ名の取得に失敗しました。	NW情報取得ツールがコンピュータ名の取得に失敗した時	○	○	-	-	-
IPアドレスの取得に失敗しました。	NW情報取得ツールがIPアドレスの取得に失敗した時	○	○	-	-	-
ユーザー情報の取得に失敗しました。	NW情報取得ツールがユーザー情報の取得に失敗した時	○	○	-	-	-
グループ情報の取得に失敗しました。	NW情報取得ツールがグループ情報の取得に失敗した時	○	○	-	-	-
グループメンバ情報の取得に失敗しました。	NW情報取得ツールがグループメンバ情報の取得に失敗した時	○	○	-	-	-
共有フォルダ情報の取得に失敗しました。	NW情報取得ツールが共有フォルダ情報の取得に失敗した時	○	○	-	-	-
設定ファイルの作成に失敗しました。	NW情報取得ツールが設定ファイルの作成に失敗した時	○	○	-	-	-
設定ファイルの書き込みに失敗しました。	NW情報取得ツールが設定ファイルの書き込みに失敗した時	○	○	-	-	-
設定ファイルが正しく保存できませんでした。	NW情報取得ツールが設定ファイルの保存に失敗した時	○	○	-	-	-
ワークグループ・ドメイン情報の取得に失敗しました。	NW情報取得ツールがワークグループ・ドメイン情報の取得に失敗した時	○	○	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ先ファイルの削除に失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ先ファイルの削除に失敗した時	○	-	-	-	-

Sync withとは

導入する

ダウンロードしたら

資料

困ったときには

表示内容	説明	通知				
		ログ ファイル	イベント ログ	メール (エラー)	メール (すべて)	NarSuS
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ先フォルダの削除に失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ先フォルダの削除に失敗した時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] ファイル時刻のコピーに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	ファイル時刻のコピーに失敗した時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] ファイル属性のコピーに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	ファイル属性のコピーに失敗した時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] ファイルコピーに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	ファイルのコピーに失敗した時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] フォルダ作成に失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	フォルダの作成に失敗した時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] ファイルオープンに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ先ファイルのオープンに失敗した時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] コピー先の容量が足りませんでした。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ先の空き容量がなくなった時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] ファイル時刻のコピーに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	ファイル時刻のコピーに失敗した時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] ファイル属性のコピーに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	ファイル属性のコピーに失敗した時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ用パイプのWRITEに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップスレッドとのパイプ通信(WRITE)に失敗した時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ用パイプのREADに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップスレッドとのパイプ通信(READ)に失敗した時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] リトライ用ファイルの削除に失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	リトライ用ファイルの削除に失敗した時	○	○	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] リトライ用ファイルの更新に失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	リトライ用ファイルの更新に失敗した時	○	○	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップコマンドが正しくありませんでした。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	スレッド間のコマンドが不正だった時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] ファイルコピーに成功しました。 *ファイル名*	スレッド間のコマンドが不正だった時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*] ファイルコピーをスキップしました。 *ファイル名*	スレッド間のコマンドが不正だった時	○	-	-	-	-
ジョブ[*ジョブ名*]のバックアップを開始します。	バックアップが開始された時	○	○	-	-	○
ジョブ[*ジョブ名*]を編集、削除しました。	バックアップジョブを編集、削除した時	○	○	-	-	○
ジョブ[*ジョブ名*] *個数*個(内スキップ*個数*個)のファイルバックアップが完了しました。	バックアップ完了時(全ファイル成功)	○	○	-	○	○

Sync withとは

導入する

ダウンロードしたら

資料

困ったときには

表示内容	説明	通知				
		ログ ファイル	イベント ログ	メール (エラー)	メール (すべて)	NarSuS
ジョブ[*ジョブ名*] *個数*個(内スキップ*個数*個)のバックアップが完了し、*個数*個のファイルバックアップに失敗しました。	バックアップ完了時(エラーファイルあり)	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] *個数*個のファイルがバックアップできませんでした。	バックアップ完了時(全ファイル失敗)	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ中止までに*個数*個(内スキップ*個数*個)のファイルバックアップが完了しました。	コピー中にバックアップが中止になった時(全ファイル成功)	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ中止までに*個数*個(内スキップ*個数*個)のバックアップが完了し、*個数*個のバックアップに失敗しました。	コピー中にバックアップが中止になった時(エラーファイルあり)	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ中止までに*個数*個のファイル削除が完了しました。	削除中にバックアップを中止した時	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ中止までに*個数*個のファイル削除が完了し、*個数*個のファイル削除に失敗しました。	削除中にバックアップが中止になった時(エラーファイルあり)	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ元フォルダが正しくありません。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ元フォルダのチェックに失敗した時	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ用メモリの確保に失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ用メモリの確保に失敗した時	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] ネットワークドライブが見つかりませんでした。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ先のネットワークフォルダが見つからなかった時	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] ネットワーク接続用ユーザーへのログインに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*)	ネットワーク接続用ユーザーへのログインに失敗した時	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] ネットワークドライブへのログインに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ先ネットワークフォルダへのログインに失敗した時	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ先フォルダが正しくありません。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ先フォルダのチェックに失敗した時	○	○	○	○	○

Syncwithとは

導入する

ダウンロードしたら

資料

困ったときには

Azure Backup サービス

表示内容	説明	通知				
		ログ ファイル	イベント ログ	メール (エラー)	メール (すべて)	NarSuS
Sync with BE Backup サービス を開始しました。	サービス開始時	○	○	-	-	○
Sync with BE Backup サービス を終了しました。	サービス終了時(サーバーシャットダウン含む)	○	○	-	-	-
Sync with BE Backup サービス を一時停止しました。	サービス一時停止時	○	-	-	-	○
Sync with BE Backup サービス を再開しました。	サービス再開時	○	○	-	-	○
[Azure リストア] *個数* 個のリストアが完了しました。	リストア完了時(全ファイル成功)	○	○	-	○	○
[Azure リストア] *個数* 個のリストアが完了し、*個数* 個のリストアに失敗しました。	リストア完了時(エラーファイルあり)	○	○	○	○	○
[Azure リストア] *個数* 個のファイルがリストアできませんでした。	リストア完了時(全ファイル失敗)	○	○	○	○	○
[Azure リストア] リストア先フォルダが正しくありません。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	リストア先フォルダが正しくなかったとき	○	○	○	○	○
[Azure リストア] リストア用メモリの確保に失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	リストア用メモリの確保に失敗した時	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*]のバックアップを開始します。	バックアップが開始された時	○	○	-	-	○
ジョブ[*ジョブ名*]を編集、削除しました。	バックアップジョブを編集、削除した時	○	○	-	-	○
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個(内スキップ*個数* 個)のファイルバックアップが完了しました。	バックアップ完了時(全ファイル成功)	○	○	-	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個(内スキップ*個数* 個)のバックアップが完了し、*個数* 個のファイルバックアップに失敗しました。	バックアップ完了時(エラーファイルあり)	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] *個数* 個のファイルがバックアップできませんでした。	バックアップ完了時(全ファイル失敗)	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ中止までに *個数* 個(内スキップ*個数* 個)のファイルバックアップが完了しました。	コピー中にバックアップが中止になった時(全ファイル成功)	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ中止までに *個数* 個(内スキップ*個数* 個)のバックアップが完了し、*個数* 個のバックアップに失敗しました。	コピー中にバックアップが中止になった時(エラーファイルあり)	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ中止までに *個数* 個のファイル削除が完了しました。	削除中にバックアップを中止した時	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ中止までに *個数* 個のファイル削除が完了し、*個数* 個のファイル削除に失敗しました。	削除中にバックアップが中止になった時(エラーファイルあり)	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ元フォルダが正しくありません。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ元フォルダのチェックに失敗した時	○	○	○	○	○

Sync with とは

導入する

ダウンロードしたら

資料

困ったときには

表示内容	説明	通知				
		ログ ファイル	イベント ログ	メール (エラー)	メール (すべて)	NarSuS
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ用メモリの確保に失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ用メモリの確保に失敗した時	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] ネットワークドライブが見つかりませんでした。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ先のネットワークフォルダが見つからなかった時	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] ネットワーク接続用ユーザーへのログインに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*)	ネットワーク接続用ユーザーへのログインに失敗した時	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] ネットワークドライブへのログインに失敗しました。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ先ネットワークフォルダへのログインに失敗した時	○	○	○	○	○
ジョブ[*ジョブ名*] バックアップ先フォルダが正しくありません。(エラーコード:*コード番号*) *ファイル名*	バックアップ先フォルダのチェックに失敗した時	○	○	○	○	○

Sync with とは

導入する

ダウンしたら

資料

困ったときには

困ったときには

バックアップが実行できない

- バックアップ設定を再度確認してください。
- バックアップ元のLAN DISKを再起動してみてください。

バックアップがエラー終了する

- バックアップ先の空き容量不足が考えられます。
⇒バックアップするファイルを減らしてください。
 - バックアップとユーザーのファイル操作が重複していたことが考えられます。
⇒バックアップ中はLAN DISKのファイル操作を極力ご遠慮ください。
他のファイルのバックアップは完了しています。該当ファイルは次回バックアップ時にバックアップされます。
- ※ 上記で解決しない場合は、サポートセンターにお問い合わせください。

バックアップが実行されたのが確認したい

コンピュータの管理よりイベントログにて結果を確認できます。

メールが送信できない

メール設定をご確認ください。 [【メール通知を設定する】\(11ページ\)](#) 参照
メール設定後はテストメールを送信し、正常にメール送信できることをご確認ください。

ネットワーク設定切替したら、エラーが表示された

[中断] ボタンをクリックし、以下の手順にしたがってください。

- ① 登録された「ユーザー」「グループ」「共有フォルダ」がマスターと同じ設定に切り替わっていることをご確認ください。
- ② 切り替わっていない設定を、手動で設定します。
- ③ 再度切替ツールで切り替えを行います。
- ④ [【マスター/スレーブ間バックアップの設定】\(7ページ\)](#) の手順1を見て、スレーブ機として設定してください。

※ [続行] ボタンをクリックした場合は、そのまま「IPアドレス」と「コンピューター名」の切り替えを行います。その後、④を行ってください。

スレーブ機をマスターに切り替えた後、アクセスできない

ユーザーパスワードが変更されていることが考えられます。

切り替え後のユーザーパスワードは、ユーザー名と同じになります。ユーザーごとにパスワードの再設定を行ってください。

※すでにマスターと同じユーザーが存在していた場合、パスワードは変更されません。

Microsoft Azureへのバックアップに失敗する

Microsoft Azureバックアップに関する設定を、再度確認してください。

- [【Microsoft Azureバックアップの設定】 \(9ページ\) 参照](#)
- [【Microsoft Azureの設定を確認する】 \(9ページ\) 参照](#)
- [【バックアップ・サービス設定】 \(19ページ\) 参照](#)

ActiveDirectoryサーバーをマスター機にしたら、バックアップに失敗する

以下の操作を試してみてください。

- ① マスター機にユーザー「synclogin」が作られています。
その「synclogin」を管理者グループ(Administrator)に所属させます。
- ② スレーブ機をActiveDirectoryから離脱させ、Workgroupモードで運用します。
- ③ マスター機でバックアップジョブを設定する際、[バックアップ先コンピュータ名]にスレーブ機の名前を手入力します。
- ④ すべての操作が終わったら、バックアップが成功するかご確認ください。

[商標について]

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows ServerおよびAZUREは、米国または他国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。